

## 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想

ソーシャルビジネスに取り組む企業やそれらを応援する人々が京都に集い、京都の未来を共に創出する構想

### <京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想の目的>

市民、企業、NPO、大学などの多様な組織や個人が、京都で社会的課題の解決に挑戦することで、過度の効率性や競争原理とは異なる価値観を日本はもとより、世界にも広めること。

(京都市が目指す未来像) ※京都市基本構想(2001-2025)に掲げられた未来

- ・ 社会や様々な世代間に信頼が再構築された未来
- ・ 過度の競争や効率性を回避し、調和した社会が構築された未来
- ・ 画一的な価値観やそれに伴う東京一極集中などの社会経済情勢から脱却した未来
- ・ 互いの技術にも企業文化にも厚い信頼を置き、相互にきめ細かく支え合う産業連関都市が再生された未来

### <京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想における取組内容>

#### ①ソーシャルビジネス企業認定制度の創設

社会的課題の解決に取り組む企業を認定し、企業にとって大きな後押しとなる社会的信用を付与することにより、その成長と発展を支援する。認定企業は、京都市内外問わず、様々な支援者から低利の融資制度や起業活動拠点の家賃優遇などの支援を受けることができる。

#### ②社会的企業をトータルで育成する経営支援

「社会的起業家の輩出」「若手起業家の育成」「中堅企業家の第二創業支援」など、起業前の若者から中堅企業まで、社会的課題の解決に挑戦したい全ての人々を対象に、ソーシャルビジネス企業の支援者による、ビジネスプランコンテストや連続講座、異業種交流会など多様な経営支援を実施する。

#### ③キュレーター育成

企業経営における社会的な意義をともに考え、社会的活動がビジネスとして継続できるよう、中長期的な観点から助言する新しい形のコンサルタントである「キュレーター」を育成することにより、今後、ますます多くのソーシャルビジネス企業を輩出し、育てていきます。

#### ④ビジネスアイデア学習プログラム「RELEASE:」の充実

社会的課題に関心を持ち「何とかしたい」と考えている大学生や若者、新たな手法を模索する行政、社会貢献という視点で新たな事業展開を図る企業の3者が集い、意見交換会や現地調査等を経てビジネスアイデアを練り上げる取組。

#### ⑤京都市ソーシャル・イノベーション・センター(仮称)の設置

京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想の推進拠点として、公益財団法人京都高度技術研究所内に「京都市ソーシャル・イノベーション・センター(仮称)」を設置する。

当センターでは、構想全体のコーディネート機能を果たすとともに、行政・企業・NPO・大学・中間支援団体などを巻き込んだネットワークの形成や、企業と公的機関とのマッチングを行うパブリックコーディネートに取り組む。

#### ⑥ソーシャル・イノベーション・サミットの開催

日本の歴史文化が凝縮された京都から、京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想の考え方や取組内容を全国に波及させ、行動の輪を広げるため、ソーシャルビジネスに関心を持つ自治体や社会的企業が京都に一堂に会し、様々な実践事例を共有し、全国に発信するソーシャル・イノベーション・サミットを開催する。

### <京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想のイメージ図>

多様な主体を生み、育て、誘致する「桶」のようなイメージ

桶の「立て板」部分は、「社会的企業をトータルで育成する経営支援」を、

桶の「箍(たが)」部分は、「立て板」部分の支援策と複合的に連携する支援策」を表している。

